

ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント

レジェンドを通じて被災地に笑顔 グリーンから生まれる人と人の絆



実行委員の青木功、日野皓正、王貞治が、3人の共通点であるゴルフを通じて「子供たちに手をさしのべたい」という思いのもとに開催されている『ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント』。3回目を迎えた本大会は、5月7日、8日の2日間に渡り、千葉県の麻倉ゴルフ倶楽部で行なわれた。今回のチャリティー収益金は、東日本大震災での被災地を支援する基金として寄付される。チャリティーオークションには、プロや著名人のサイン入りグッズなどが多数並び、大盛況。ホールアウト後に、自らオークション会場に立ったプロや著名人も多く、チャリティーの総額は焼く3000万円にもものぼった。

前日の雨模様が、嘘のように晴れ渡った最終日。首位争いは混戦模様となり、トップが何度も変わる展開。そんな中、会場をひときわ湧かせたのが石川遼。自己最多の6連続バーディーを達成し、一時はトップに立つ。若者に負けじと奮起したのが、宮本勝昌、平塚哲二に、シニアの室田淳。バーディーの山を築き、一步も譲らない場面が続く。最後に粘り強いプレーを見せたのが室田。最終18番でバーディーを奪い、この日9アンダー、トータル13アンダーの131で優勝争いを制した。宮本は1イーグル、8バーディー、1ボギーの63でまわり、昨年、石川遼が樹立したコースレコードの64を塗り替える快挙。若手、中堅、ベテランと三者三様のプレーで、観客を魅了した。

著名人では遠藤章造が20アンダーと2位に8打差の快勝。「僕が優勝するとは、誰も想像していなかったと思う」と、体よりかなり大きいサイズの優勝ジャケットを観客に見せ、笑いを誘っていた。

表彰式の前には、7日になくなった「ゴルフ界のレジェンド」こと、セベ・バレステロス氏に目途を捧げた。実行委員の青木は「大震災の復興は1～2年で終わる事ではない。ゴルフを通して被災者の方に笑顔を届けたい」と今後の協力を呼びかけた。レジェンドを通じて被災地へ笑顔を……。新しい目標と希望が、また生まれた。

ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント

麻倉ゴルフ倶楽部（プロの部・6,969ヤード、シニアとアマの部・6,505ヤード、パー72）

- 主催／ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント実行委員会
- 大会実行委員／青木功、日野皓正、王貞治
- 後援／日本医師会、日本赤十字社
- 特別後援／社団法人日本プロゴルフ協会、社団法人日本ゴルフツアー機構
- 協賛／協賛各社
- 特別協力／テレビ朝日
- 協力／千葉県、佐倉市、麻倉ゴルフ倶楽部、ヒルトン成田
- 企画／有限会社青木功ゴルフ企画、株式会社ハイマックス
- 協議運営／株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ
- テレビ放送／テレビ朝日系列全国24ネット（一部地域を除く）

- 賞金／総額2,500万円 優勝賞金500万円 ※賞金総額の10%をチャリティーとして寄付
- 参加者／112名（プロ28名、著名人28名、アマ56名）
- 観衆／1日目 4250名、2日目 4510名
- 天候／1日目雨、2日目 晴れ
- スコア／プロの部／優勝・室田淳131（13アンダー）
2位T・宮本勝昌、鈴木亨、平塚哲二133（11アンダー）
- 著名人の部／優勝・遠藤章造124（20アンダー）
2位T・梶原雄太、東尾修、岸田敏志（12アンダー）